

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		生活指導相談学級の運営				所管	教育委員会 教育支援館		
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名	事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標]							
		[小 柱]							
		[施 策]							
	根拠法令等	条例・規則		[法令等名]	東京都台東区生涯学習センター条例、東京都台東区立教育支援館処務規則				
	事業対象	区内在住・在学の不登校の児童・生徒							
	事業目的	学校に適應できず、長期欠席状況にある児童・生徒に対し、学習相談やグループ活動を通して、学校生活へ復帰できるよう支援する。							
	事業内容	(1)不登校の児童・生徒を対象にする通級学級の運営 ※開設時間 月曜日～金曜日(祝日を除く)、9時30分～16時(冬季15時30分) (2)ふれあいパートナー派遣							
委託の有無	なし	委託内容							
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度		
	活動指標	開設日数 日		210	210	215	215		
	成果指標	入級児童・生徒数 人		12	12	11	7		
		延通級日数 日		460	459	436	199		
	決算額 (単位：千円)				14,803	18,263	14,890		
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)			19,096	21,614	17,024		
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			197	159	185		
		その他のコスト (扶助費・補助費など)			10	238	42		
		総経費			19,303	22,011	17,251		
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			0	0	0		
		その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			1,590	1,979	1,695		
一般財源 (区負担額)			17,713	20,032	15,556				
前年度から改善した事項		児童・生徒が学校生活への復帰に向け、時程表に基づく生活を指導するなど、見通しを持って活動に取り組めるよう個に応じたきめ細やかな指導に努めた。							
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	3	教育相談やスクールカウンセラーの相談実績において、不登校問題の占める割合は高く、児童・生徒の学校復帰を支援する本事業の必要性は高い。						
	効率性	3	個々の学習計画を立てることで学習意欲を高めるとともに、校外学習や調理実習などを実施することにより、集団活動への適応力や社会参加への意欲向上につながった。						
	手段の適切性	4	教職経験者や臨床心理士が、通級児童・生徒の個に応じたきめ細やかな指導に努めた。						
	目的達成度	2	学校訪問等により不登校児童・生徒の現状把握に努め連携を図ったが、必ずしも入級につながらなかった。						
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
個々のニーズに合ったきめ細やかな対応を行い、不登校の児童・生徒の学校復帰を支援した。今後、不登校児童・生徒の早期発見・早期解決のため、学校園・家庭等との連携強化を図り、あしたば学級への入級につなげていく。						維持			